

# 防災特集

## 災害から身を守るために！

### 風水害、土砂災害に備えよう

台風が一年で最も多い時期となりました。平成16年の台風16号接近時に、満潮時に潮位が最も高くなる「大潮」が重なり、笠岡市の沿岸部では約千世帯が床下・床上の浸水被害を受けました。

台風における災害は、沿岸部における高潮だけではありません。内陸部においても、台風による大雨が降り続くことによって土砂災害や河川の増水の危険性が増してきます。崖から水が湧き出ている、山鳴りがする、地面にひび割れができるなど、少しでも異常を感じたら、近所同士で声をかけあい、早め早めの行動をすることが大切です。

### 震災に備えよう

東南海・南海地震は、おおむね百年〜百五十年周期で繰り返していま

す。過去にもマグニチュード8クラスの巨大地震が発生し、その都度大きな震災と津波災害となっています。今後30年の地震発生確率は50〜70%とされています。

東南海・南海地震が同時に起こった場合、笠岡市では最大震度6弱の揺れが発生するとされています。そのような大きな地震が発生した場合には、屋内ならば丈夫なテーブルなどの下に隠れる、屋外なら公園や空き地に逃げ込むなど、まず自分の身を守る事が大事です。そして、どんなに大きな地震でも激しい揺れが続くのは約一分程度といわれていますので、揺れがおさまったら、家の火元の安全を確認してから避難してください。

### 津波災害に備えよう

東南海・南海地震が発生した場合、笠岡市は「大津波」（3メートル以上）又は満潮時に陸上の浸水深が2



メートル以上の津波が予想される地域として、国の中央防災会議で東南海・南海地震防災対策推進地域に指定されています。

押し寄せる津波から身を守る方法は、避難する以外にありません。海岸にいるときに、強い地震や長い時間の揺れを感じたら、津波警報の有無にかかわらず、一刻も早く海岸から離れ、高台などの安全な場所に避難してください。津波は繰り返し襲ってきますので、警報・注意報が解除されるまで、海岸には近づかないようにしてください。

なお、笠岡市が現在、避難所に指定している施設の中には、海岸線から近いために津波災害の避難所としては適さない施設がありますので、津波発生の場合には、高台への避難を心がけてください。

### 最新情報を入手しましょう

気象状況は刻々と変化します。テ

### 緊急情報メール

携帯電話メールで緊急情報を配信しています。緊急情報に関する解除及び散会に関する情報。その他必要と思

○市へ配る内容：  
 ・火災警報  
 ・笠岡市災害発生時の情報  
 ・災害発生時の情報

○申込方法：携帯電話メールで、  
 youkaku-it@city.kasaoka.okayama.jp  
 表題を「緊急情報メール配信希望」とし、住所・氏名・携帯電話番号を明記して送信してください。

○問合せ先：革IT推進課 ☎69-2166

### 「緊急告知ラジオ」

市では、災害時に市民への迅速・正確な情報を届けるため、「緊急告知ラジオ」による情報伝達を行っています。緊急告知ラジオは、災害の情報、笠岡市災害対策本部の設置、避難勧告等に関する情報を、FM放送への緊急放送により提供するものです。緊急告知ラジオの特徴は、電源が入っていない場合でも、自動で起動して緊急告知を行えることです。

この緊急告知ラジオを、市では現在390台購入し、市内の自主防災組織や避難所に順次貸与しています。

テレビ、ラジオや笠岡市の緊急情報メールなどにより常に新しい情報を受け取ってください。